

※リアスプリング交換の作業手順例



純正リアスプリングは長いので簡単に外れません。

リフトアップする前にスプリングコンプレッサー等でスプリングを伸びないようにすると簡単です。

画像は分かりやすい例としてバンドで締め付けています。

※必ず安全を確保できる工具・方法で行ってください。



スプリングコンプレッサー



ABS線及びブレーキホースに負担がかかるのでステア及びクリップを外しておきます。

ステアは黄丸で囲った部分に10mmボルトで固定されています。

ABS線及びブレーキホースに負担が掛からないよう十分注意してください。

当製品のリアスプリングは縮めずにそのまま装着可能です。

※スプリング上部の切り口を2時方向にして組み込むと装着しやすいです。



スプリングを取付たら上部切り口が6時の方向に来るように時計回りに回転させます。

切り口の向きが分かりやすいように製品に丸いシールを貼っています。

運転席側、助手席側ともに切り口(シール)が6時(車両後方側)に来るように取付けてください。

※装着後、スプリングとアジャスターがしっかり座っているのを確認しながらリフトを下ろしてください。